

# 早春の「大品山・鋤崎山」へ行く

2002年春山情報 5号 3/28

3/28 前日、程よく新雪もつもり、またまた黄砂で汚れた山肌が真っ白にお色直し。  
今日は、朝から快晴の天気予報・・・なんとしてでも行かねばならないだろう・・・と思いつつ出発した。  
目標は、3月中はまだ「ゴンドラ」が大丈夫な雷鳥バレースキー場・・・やはり一気に1000mまで登れるのは大変魅力だ。・・・予定どおり、朝からすばらしい天気となった。感動しつつ、写真を撮りつつ、目標の「鋤崎山」まで登ってしまった。ずっと前の新雪はよほど多かったとみえて、最後はひざから上までのラッセルに大変疲れ果ててしまった。・・・帰りは足の痙攣をだましだまし、下りてきた。

## 今日の日程

自宅	7:30	-	ゴンドラ乗り場	8:40	ゴンドラ頂上駅	9:00	-	瀬戸倉山	10:00	大品山	11:30	鋤崎
山三角点	12:30											
「鋤崎山」	15:00	-	大品山	16:30	-	ゴンドラ頂上駅	18:00	-	自宅	19:00		

やや溶けて、つららのような霧氷・青い空に映えるまぶしいくらいの霧氷・・・  
ここまで登ると、先日の新雪がひざまでくる「ラッセル」・・・相当な労力だが、自然の造形の美しさがそれを忘れさせてくれる。・・・



瀬戸倉山の稜線から見た毛勝三山。「鋸崎山」もその雄姿がだんだん、間近に迫ってきた。



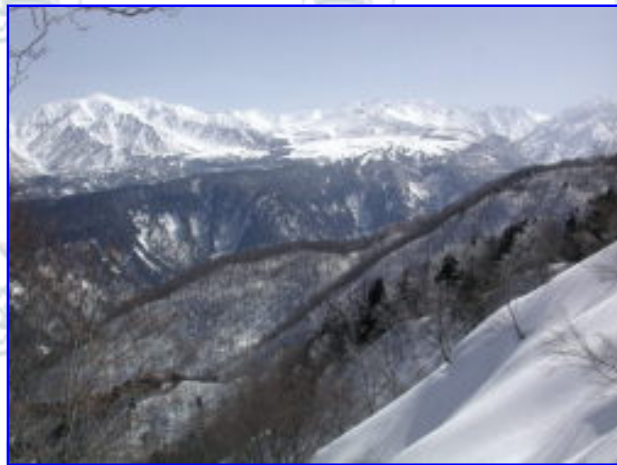
紺碧の空の下、霧氷が輝いて・・・どこまでも、まぶしいくらい。このシーズンしか得られない「感動」が続く・・・



「大品山」付近からはいよいよ本格的に、「大日岳」「立山」がせまってきた。

「鋤崎山」へのルートもだんだん冬山の装いを見せてきた。

右の写真は、三寒四温の気候の厳しさから、「なだれ」をちょっぴり予想させる厳しい「せっぴ」の様子です。

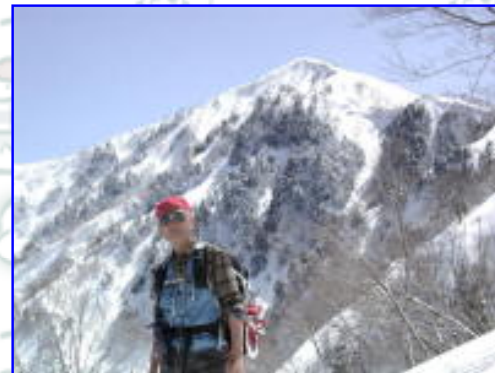
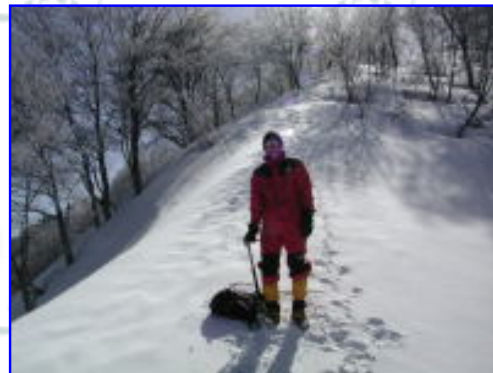


ゴンドラ頂上駅にて

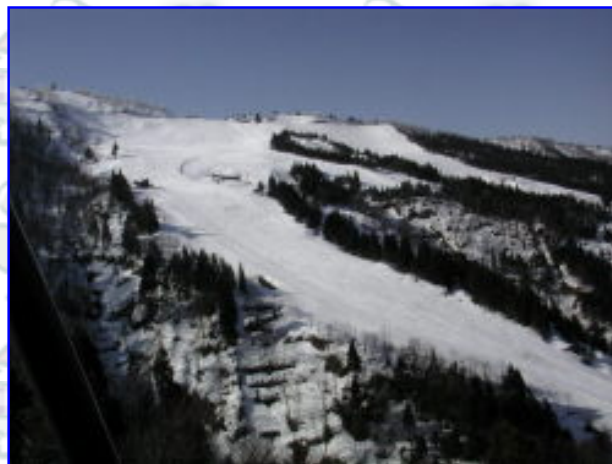
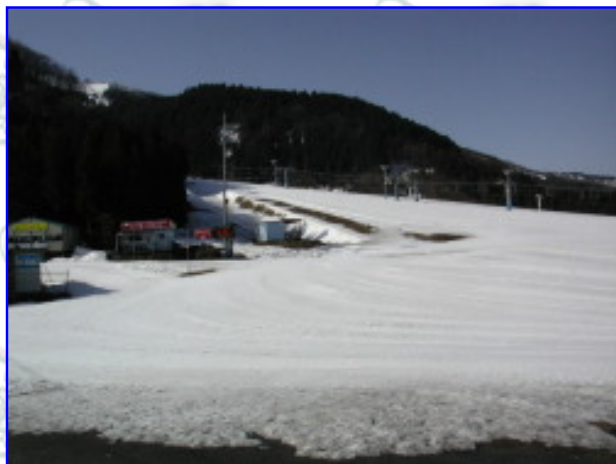
瀬戸倉山登りにて

鋤崎山を背景に1700mの三角点ピーク手前にて

鋤崎山頂上にて

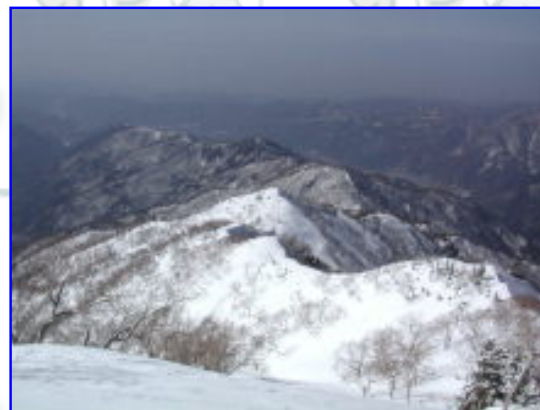


ここ何年も暖冬で、雪不足になやんできたスキー場も今年はまだこのとおり、予想以上に雪が残っている。  
スキー場は、ほぼ全面滑走可能な状態である。・・・雷鳥バレースキー場・・・

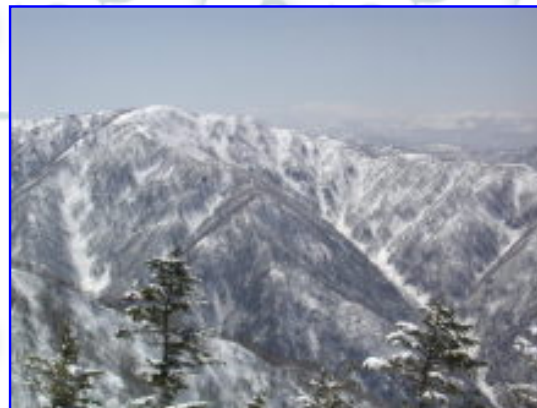
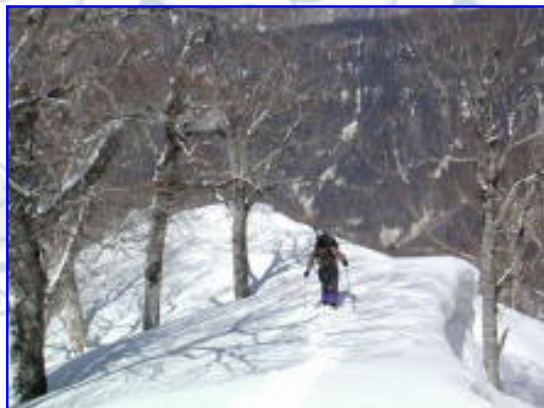


## 今日出会った人々

この角度・・・斜面・・・醍醐味ですね。・・・ここはアイゼンとピッケルがないとあぶないです。  
右に広がるのは、遠く「白山の方向です。  
右の写真は、登ってきた「大品山」「瀬戸倉山」の稜線です。



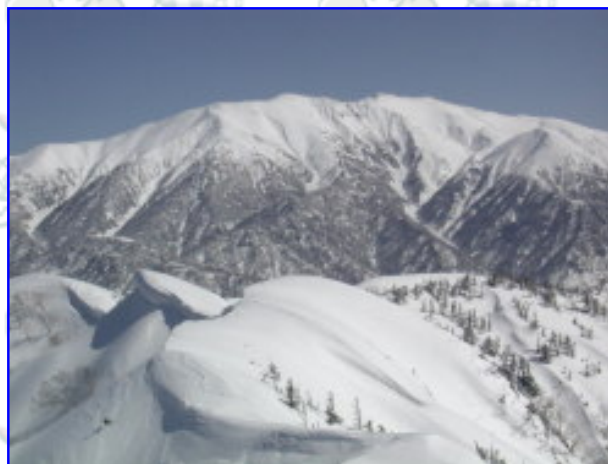
後から追い抜いた人が、ベテランで・・・私としては、あまりのハードさに、ちょっぴりめげていたのですが、「行かないのですか?」の一言で、多少「足が痙攣気味」だったのですが、だましだまし・・・頑張ることにしました。本当は、ここで最後の写真のつもりでしたが・・・あまりに展望がよくなってきたので。  
・・・なんと「剣岳」が頭を見せたのです。・・・もうちょっと見たい・・・



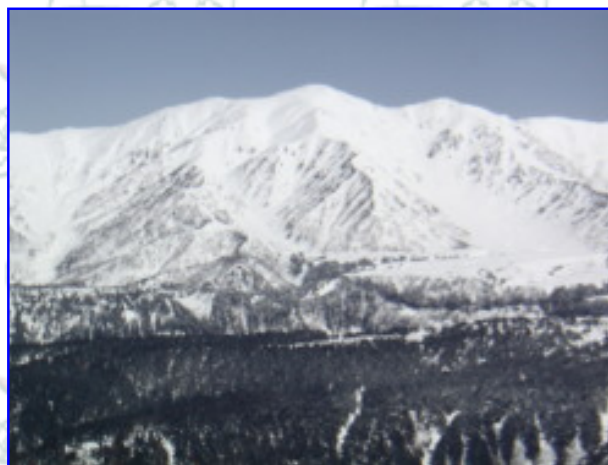
1700mの三角点ピーク、手前でみなさんとお別れ・・・私はとりあえず三角点まで行こうと頑張った・・・  
右がこのルート最大の難関・・・これ以上、積雪が少なくなると右を巻いてトラバースする必要がありそうです。  
・・・今日は、とりあえず。スムーズ????に通ることができました。・・・さすがに神経が集中します。



とうとう、「鋸崎山」に着きました。・・・まず出迎えたのは、厳しい頂上を表す・・・「シュカブラ」ー雪紋  
いよいよ、ここまで来ないとみる事ができない「薬師岳」の登場です。・・・頑張って来てよかった。  
頂上まで、一緒に同行して頂いた、motokiさんありがとうございました。  
ちょっぴり、体力不足でラッセルを手伝えなくてゴメンナサイ。



まぶしいくらいに真正面に輝く「立山三山」「大日岳」。  
したに広がる弥陀ヶ原には、除雪の様子が見える。・・・立山の春も間もなくだ。



帰りは、痙攣した足をだましながらの下山。・・・ちょっぴり厳しい。  
やはり、雪の量が多いと足に負担がかかると改めて感じた。・・・ちょっと鍛えよう・・・いつも思うのだが。  
夕日がせまるにつれ、一日中みていた山々が、また装いを新たにしてくれる。  
スキー場のゴンドラはもう止まっているので、さっそうと???アルペンスキーで滑降する。  
ゲレンデの途中で、静かに夕日が落ちていった。・・・

